



自由民主党 吉野 郁 恵  
人ごとでないごみ減量化 18



**問**より一層ごみの減量化を推進するためには分かりやすい啓発が大切だと考えるが、今後の啓発の取り組みは。

**答**環境部長 ごみの問題を自分ごととして捉えてもらうため、広報川越およびホームページ等を通じて、ごみ排出量やごみ処理経費などを分かりやすく表記し、啓発を行うとともに、市民に分かりやすいキャッチフレーズを考えるなど、つばさ館まつりやSDGsに関するイベントなどにおいて、継続して情報発信していきたいと考えている。また、教育委員会との連携を進め、さらには近隣の大学や企業等との協働による啓発についても積極的に検討していきたいと考えている。

【調】若手の新規就農者の確保 【調】ごみの減量化



自由民主党 吉敷 賢 一 郎  
南古谷駅北口開設はいつ? 20



**問**J R川越線荒川橋りょう架け替えを含む荒川の整備事業は令和12年度の完成に向け進められているが、南古谷駅の整備事業による北口開設時期に関する市長の見解は。

**答**市長 早期の北口開設に向け、来年度から行う自由通路等の実施設計において具体的な開設時期を検討し、その後、速やかに工事に着手していく予定である。

事業を進めていく上では、国の都市構造再編集中支援事業の第2期計画の事業採択を受けられるよう協議を進めているところで、当該計画は令和5年度から令和9年度の5カ年計画として予定していることから、令和9年度までの計画期間中に供用開始できるよう取り組む。

【調】川越市東部地域の将来像 【調】川越駅西口連絡所



日本共産党 長 田 雅 基  
子どもの居場所の増設を 22



**問**子ども食堂や学習支援、プレーパークなど、子どもたちが安心して過ごせる「子どもの居場所」をもっと増やしていくべきと考えるが、市長の考えは。

**答**市長 子どもの居場所は、家や学校に続く第三の場所としての位置付けであり、社会的に孤立し、困難を抱える子ども・若者を増加させないための取り組みである。

この取り組みには、さまざまな主体が関わり、協力しながら地域社会に定着させていくことが必要である。

子どもの居場所の増設は、地域の中で子どもたちが健やかに育まれる環境づくりの一環として、より多くの人々の理解と協力を得ながら進められるよう検討する。

【調】子どもの未来が輝く社会



公明党 大 泉 一 夫  
校門に郵便ポスト設置を 19



**問**小中学校の門の外にポストを設置することは、市民の利便性向上だけでなく、投函行為や郵便局の回収業務により学校の防犯にもつながると考えるが教育長の見解は。

**答**教育長 小中学校に郵便ポストを設置することで、手紙文化に触れる一つの機会となることや、地域の人々が設置された郵便ポストを利用することで、子どもたちを見守る大人の目が増え、また、地域の利便性向上にもつながると考えられる。その一方で、登下校時には、正門付近に児童生徒が集中するため、車など、安全への手だてが必要である。具体的な設置要望があった場合には、児童生徒への安全性等を踏まえて検討したい。

【調】郵便ポストの有効利用



日本共産党 池 浜 あ け み  
平和の発信と施策の充実を 21



**問**国の軍備増強の一方で平和首長会議は核兵器廃絶と対話による戦争終結を求めている。本市も平和都市宣言の横断幕再掲など発信を一層強めるべきだが市長の見解は。

**答**市長 争い事のない平和な社会、戦争や核兵器のない平和な世界を築いていくことは大変重要であり、人類の共通の願いである。平和を愛する心を育む社会を構築し、世界恒久平和の実現に寄与するため、引き続き、平和施策の充実と効果的な施策の推進を図るとともに、市ホームページや広報、SNS等を通して、平和についての意識の高揚を図っていく。

【調】川越から平和の発信を 【調】市民会館解体と跡地利用



日本共産党 川 口 知 子  
山王塚古墳を史跡公園に! 23



**問**山王塚古墳が国指定史跡に答申された。今後は市民が憩え、歴史文化が感じられる史跡公園を目指すべきだと考えるが、市の見解を伺う。

**答**教育総務部長 具体的な整備の方針については、山王塚古墳整備検討委員会を設置し、保存活用計画の策定を進める中で検討していく。その際は、全国的にも珍しい形の古墳であり、市民の憩いの場や観光の場としての公園化を目指すべきではないかという意見も含め、幅広い視点から同古墳の歴史的意義や特徴を生かした整備について検討していきたいと考えている。

【調】川越シャトルとかわまる 【調】埋蔵文化財と山王塚古墳